

道守 道守かごしま通信



みちもり

平成27年9月 第20号

平成27年度「道守かごしま会議」総会を開催！！

「平成27年度「道守かごしま会議」総会」を8月20日(木)に鹿児島国道事務所の会議室において開催しました。県内各地から道守会員38名が参加され、行政からも10名の参加をいただき、総勢48名での開催となりました。

総会では、議事として平成26年度の活動・決算報告、平成27年度の活動方針・予算案の確認を行いました。会場には活動報告パネルを展示し、総会後にはビブスの配布も行いました。

来年度は鹿児島において「みちづくしin鹿児島2016」が開催予定となっており、今後とも会員皆様にはより一層のご協力をお願いいたします。

また研修会では、京都大学防災研究所 火山活動研究センター長 井口教授による「大正級大規模噴火を想定した地域防災」と題して講演をしていただきました。桜島噴火レベルが3から4(避難準備)へ引き上げとなった中での講演は、今後の桜島噴火への貴重な情報となりました。

また、総会後にはアーバンポートホテルにおいて交流会も行い、様々な話題交換で会員相互の交流が深まりました。

平成27年度「道守かごしま会議」総会

総会



田島代表世話人
あいさつ



京都大学火山活動研究センター長
井口教授

噴火警戒レベルとは 2007年12月から気象庁が発表
防災対応レベルの指標であり、火山活動の指標ではない

警戒レベル	火山の状況	危険	火山規制
レベル5 避難	重大な被害を及ぼす噴火発生	危険な居住地域からの避難	火山規制
レベル4 避難準備	重大な被害を及ぼす噴火発生	警戒すべき居住地域からの避難準備、五管特設保護者の避難	火山規制
レベル3 注意	火口から2km以内に影響	通常の生活	大規模噴火に警戒
レベル2 火口周辺注意	火口から1km以内に影響	通常の生活	大規模噴火に警戒
レベル1 平常	火口周辺注意	通常の生活	大規模噴火に警戒

レベルへの依存は危険であることは、すでに御岳山、浅野島噴火で証明されている

研修会



活動報告
パネル展示
とビブス

